

ギャイトロン™ アミン液剤の使用メソッド（登録内容）と注意事項


種類名:トリクロビル液剤 ●有効成分:トリクロビル・・・44.0％ ●その他の成分:水等・・・56.0％ ●人畜毒性:普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

作物名	適用場所	適用雑草木名	使用時期	10アール当り葉量 又は希釈倍数	10アール当り又は 1株当り使用液量	本剤及びトリクロ ビルを含む農業の 総使用回数	使用方法	
日本芝	－	一年生広葉雑草、 クローバー、チドメ グサ等の多年生 広葉雑草	雑草生育期	200～600mℓ	150～200ℓ	3回以内	雑草茎葉散布	
樹木等	公園、庭園、 堤とう、駐車場、 道路、運動場、 宅地、のり面等	一年生広葉雑草 多年生広葉雑草		500～1000mℓ	200～250ℓ		植栽地を除く樹木 等の周辺地に雑草 茎葉散布	
		ニセアカシア	3月～9月	20倍	10～20mℓ/株径10cm	切株処理		
				3倍	3mℓ/樹径8～9cm	立木処理		
すぎ・ひのき (下刈り)	－	落葉雑かん木 一年生広葉雑草 多年生広葉雑草 クズ	雑草木の 新葉展開後～ 生育期	350mℓ	30ℓ	2回以内	雑草木茎葉散布	
林木	造林地	雑かん木	4月～10月	10～15倍	45mℓ/株径15cm		切株処理	
		ク　　ズ		25倍	10～20mℓ/株径3～5cm			
			11月～5月	3倍	1mℓ/株			株頭処理
		クズ・フジ等のつる類	4月～10月	2～3倍	0.5～2mℓ/株径2～5cm			つる切り処理
		ニセアカシア	3月～9月	20倍	10～20mℓ/株径10cm			切株処理
				3倍	3mℓ/樹径8～9cm			立木処理

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用の際は展着剤を加用して下さい。
- 適用作物以外の作物（果樹等）には薬害を生じる恐れがあるので使用しないで下さい。
- 広葉雑草の中、オオバコ、スイバ等には効果が劣るので、それらの優占する所での使用は避けて下さい。
また、カタバミにも効果が不十分な場合があるので、カタバミの多い所では所定の範囲の多めの葉量で使用して下さい。
- メヒシバ、ススキ、ササ類等イネ科の雑草には効果がないので、それらの多い所では使用しないで下さい。
- すぎ、ひのきの下刈り代用として落葉かん木に使用する場合、樹高1.5m以上のかん木に対しては効果が劣るので、樹高1.5m以下の時期に使用して下さい。
また、ムラサキシキブ、リュウブ、クロモジ等、また大きな切株からの太い萌芽及び常緑かん木には効果が不十分ですので、それらの優先する所での使用を避けて下さい。
- 造林木に直接かかると薬害を生じる恐れがあるので、かからないように散布して下さい。
- 雑かん木及びニセアカシアの切株処理に使用する場合は、株の側面にナタ等で傷をつけてから、切り口及び側面に薬液が十分付着するように散布して下さい。
- クズの株頭処理に使用する場合は、株際よりつるを切断した切り口に薬液が十分付着するように処理して下さい。
- クズ・フジ等つる類のつる切り処理に使用する場合は、1～3カ所ナタ等でつるに傷をつけてから、切り口に薬液が十分付着するように処理して下さい。
- ニセアカシアの立木処理に使用する場合には、幹の周囲に切れ目なく切傷をつけてから、その部分に薬液が十分付着するように処理して下さい。
- 対象雑草木の葉が十分展開した後に茎葉全面に均一に散布して下さい。
なお、散布が遅れると効果が不十分となるので使用時期を失しないように注意して下さい。
- 激しい降雨が予想される場合は、使用を避けて下さい。
- 散布後の降雨は効果を減するので、天候を見定めてから散布して下さい。
また、降雨後に散布する場合は、雑草が乾いてから散布して下さい。
- 果樹・野菜他の農作物等また、草花・植木等の有用植物には薬害を生ずる恐れがあるので、付近にこれらの有用植物がある場合は、飛散・流出しないように十分注意して下さい。
- 水源地等に本剤が飛散・流入しないように十分注意して下さい。
- 日本芝に使用する場合は、ラベル記載の日本芝に使用する場合は注意事項を守って下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用メソッドを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにして下さい。

【輸入元】
コルテバ・ジャパン株式会社
 〒100-6110 東京都千代田区永田町二丁目11－1（山王パークタワー）

【製造・販売元】

日産化学株式会社
 〒103-6119 東京都中央区日本橋二丁目5番1号

⚠ 安全使用上の注意事項

- 誤飲誤食等のないように注意して下さい。
- 眼に対して強い刺激性があるので、散布液調整時及び立木、切株等の処理の際には保護メガネを着用して原液や高濃度の希釈液が眼に入らないように注意し、万一眼に入った場合は、直ちに水洗し眼科医の治療を受けて下さい。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落して下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、保護メガネ、長ズボン・長袖の作業衣等をつけ、散布液を吸い込んだり、多量に浴びたり、眼に入ったりしないよう注意して下さい。
- 公園・堤とう等で使用する際には、小児や散布に関係のないものが作業現場に近づかないよう配慮するとともに居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないよう注意を払って下さい。
また、散布後にあっても、少なくともその当日は散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てる等配慮して下さい。
- 散布薬液が飛散すると、自動車やカラートタンの塗装等に影響を与える恐れがありますので、注意して下さい。
- 金属腐食性があるので、散布器具等は使用後直ちに水で十分洗浄して下さい。
- 作業後は顔・手足等皮膚の露出部を石鹸でよく洗い、うがいをし、眼は清水で洗って下さい。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管して下さい。
- 散布に使用した器具・容器の洗浄水・使用残りの薬液及び空ビン等は、水に流さず、環境汚染のないよう安全に処理して下さい。
- 危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意して下さい。
- 本剤は火気や直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管して下さい。

- ・使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ・ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- ・本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- ・空容器は圃場等に放置せず、環境に影響のないように適切に処理して下さい。
- ・防除日誌を記帳しましょう。

クズ・つる類等雑草木

広葉雑草

除草剤

広がるクズをストップ！

家まわりから造林地まで
 広がるクズ対策に

ギャイトロン™
 アミン液剤

特　　長

- 植物の増殖・伸長を阻害しクズを枯殺
- 被害状況にあわせ様々な処理方法（散布・滴下等）でいつでも防除可能
- クローバーやタンポポ類等広葉雑草にも優れた効果

広がるクズ被害の様子



勢いよく繁殖するクズ



納屋を覆い尽くすクズ

クズ対策に効果的なザイトロンTMアミン液剤の処理方法

生育初期のクズはある程度刈り取りできますが、生育が進み繁茂状態になってくると刈り取りにも限界があります。

除草剤で根を枯殺しなければ、クズの繁殖を止めることは困難です。

ザイトロンが“**広がるクズをストップ!**”します。ここでは、ザイトロンの効果的な処理方法をご紹介します。

ザイトロンTMアミン液剤の処理方法



ご使用の前に クズの繁茂する辺り(薬剤散布予定場所)に、クズ以外の樹木や植物が植えられていないかどうか確認を行って下さい。その上で下のA・Bいずれかの方法で処理を行って下さい。

注意:クズ以外の樹木や植物に薬剤が直接かかると薬害を生じる恐れがあります。

【薬液の作り方】



「つる切り処理方法」を行う場合の例:

- ① 小さじ半分程度(2ml)のザイトロンアミン液剤を2倍の水で薄めて下さい。
- ② その希釈液(全量)を、切ったクズ1株の切り口にスポイトなどで滴下して下さい。

※上記は株径が2~5cmのクズ1株の処理を行う場合の薬液量です。
その他詳細については裏面の「使用方法(登録内容)」表をご覧ください。

A 周辺に植栽のない場合

カラッと晴れた日の雑草茎葉が乾いている状態で使用して下さい。風のある日はなるべく避け、やむを得ない時は必ず風を背にして作業して下さい。

葉や茎から薬剤を吸収。刈り取り不要! ざっそうぼくけいよう 雑草木茎葉散布方法



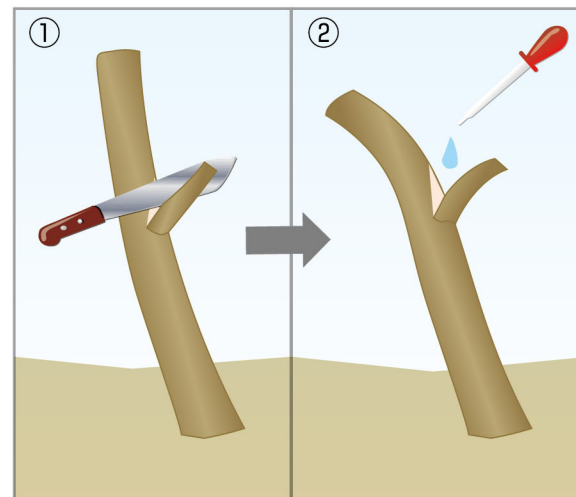
新葉が展開し生育が盛んになった時に、噴霧器等で茎葉に**ザイトロン**を全面散布。

注意:散布の際は農薬用マスク、手袋、保護メガネ、長ズボン・長袖の作業衣等をつけ、散布液を吸い込んだり、多量に浴びたり、眼に入ったりしないよう注意して下さい。

B クズ + クズ以外の樹木や植物も植えられている場合(造林地)

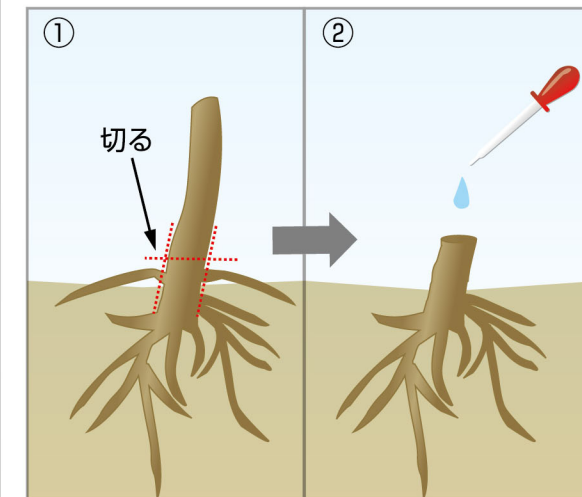
薬剤は根元へ処理しますので、クズの葉が勢いよく生い茂っている場合は、根元が見えるようになるまで葉と茎の刈り取りを行って下さい。

つる成長期の春~秋の処理に最適 つるきり つる切り処理方法



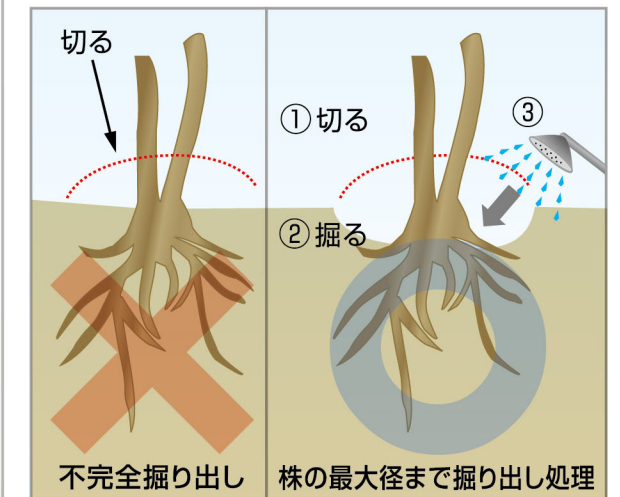
- ① 立ち上がり木化しているつるに1~3カ所ナタ等で傷をつける。
- ② スポイト等で切り口に**ザイトロン**を十分付着するように滴下。

落葉後の株が見える秋~春の処理に最適 かぶがしら 株頭処理方法



- ① 立ち上がっているつるを株際で水平に切る。
- ② スポイト等で切り口に**ザイトロン**を十分付着するように滴下。

根元への直接処理で確実に枯殺 きりかぶ クズ切株処理方法



- ① 立ち上がっているつるを株際で切る。
- ② 株の最大径まで掘る。
- ③ 噴霧器等で根元に**ザイトロン**を散布。

注意:クズ以外の樹木や植物に薬剤が直接かかると薬害を生じる恐れがあるので、かからないように散布して下さい。